



各位

会社名 クオンタムソリューションズ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 邵 贇  
(コード番号 2338 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役管理部長 村山 雅経  
TEL 03-6910-0571 (代表)

## 営業外収益の計上及び業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2022年2月期(2021年3月1日~2022年2月28日)の連結および個別決算において、下記の通り営業外収益を計上するとともに、2021年10月11日に公表しました連結業績予想と実績値の差異についてお知らせいたします。

記

### 1. 営業外収益の計上について

#### (1) 為替差益の計上(連結)

当社は、当社グループの在外子会社である Quantum Automotive Limited、Quantum FOMM Limited 及び FASTEPS SINGAPORE PTE. LTD. に対して貸付けを行っておりますが、為替相場の変動によって生じる当社の貸付金と子会社の借入金の差額を為替差損益として処理しております。

当連結会計期間においては、主にこの処理の結果、5,582千円の為替差益を計上いたしました。この結果、当連結累計期間における為替差益の計上額は、31,673千円となっております。

#### (2) 貸倒引当金戻入額の計上(個別)

当社個別の期末金銭債権の評価にあたり、在外子会社に対して保有する金銭債権の前期に設定した貸倒引当金について、在外子会社の財政状態が、保有する投資有価証券の時価の上昇に伴い改善されたことから、一部を戻し入れることといたしました。主にこの処理の結果、計上した貸倒引当金戻入額は、100,895千円となっております。尚、当該貸倒戻入額は、連結上、相殺消去されるため、連結上の影響額はございません。

#### (3) 為替差益の計上(個別)

当社は、当社グループの在外子会社に対して、外貨建で貸付を行っており、期末における外貨建貸付金残高の評価にあたり、為替差損益を認識しております。主としてその結果、個別上、当会計年度末において8,408千円の為替差益を計上いたしました。

2. 2022年2月期通期連結業績予想数値と実績値の差異（2021年3月1日～2022年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	300	△330	△300	△270	△24.07
実 績 値 (B)	256	△360	△311	△280	△24.79
増 減 額 (B-A)	△44	△30	△11	△10	
増 減 率 (%)	△14.50%	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年2月期)	245	△378	△377	△392	△36.40

3. 連結業績差異の理由

当連結会計年度において当社グループは、EV事業の立上げに力を入れてまいりましたが、EV事業における売上はまだ立っておらず、当社グループの売上高は、アイラッシュケア事業によるところが、全体の約9割となっております。アイラッシュケア事業の売上に関しては、商材部門の売上が、見込みを下回ったことから、売上に関して、△44百万円（増減率△14.50%）となりました。営業利益の減少額（△30百万円）は、主として売上減に伴う売上総利益の減少額となっております。経常利益の減少額（△11百万円）は、営業利益の減少額に加え、主として「1. 営業外収益の計上（1）為替差益の計上（連結）」で記載した為替利益の計上等によりります。その結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、△10百万円となりました。

以 上